

第2回 京都生活協同組合 両丹ブロック 5名参加

平成30年8月20日 13:00~14:00

於：中丹勤労者福祉会館 第1会議室

主な話し合いの内容（★＝団体、◎＝市長）

★京都生活協同組合両丹ブロックの昨年度活動状況及び今年度重点取組課題について。
生活協同組合様より通常総代会議案書をもとに説明。

- ・事業全体では、供給高と最終経常剰余金において、前年度実績を確保し、事業体としては増収増益となっている。
- ・組合員数は少し伸びているものの、子育て世代層が少ないことが課題である。また、福知山市においては、組合員数は増加しており、現在約4割の世帯にご加入いただいている。
- ・昨年度は子育て支援とヒバクシャ国際署名、行政との連携協定の締結に取り組んだところである。
- ・今年度の重点取組課題は以下の4点である。
 - ①食の安心・安全の確保、商品の充実、宅配事業の仕組改善など
 - ②フードバンクとの連携、自然災害への備え、ヒバクシャ国際署名など
 - ③経営基盤の安定
 - ④全国の生活協同組合との連携強化

◎お買い物便をされておられるが、売り上げは車の大きさに比例するのか？

★車の大きさによって商品に乗せられる種類が変わる。種類が多ければ多いほど利用は増えると思う。しかし、一人当たりの利用金額は大きく変わらないので、停留所の利用人数の違いが大きい。

◎昔は地域にいろいろなお店がたくさんあったが、今は少なくなってきている。また、高齢化も進み買い物に行くのが大変になってきているところもある。こういった事業のニーズはある程度あると思う。

高齢の方でも、パソコンやタブレットを使用して注文等をされる方は多いのか？

★やはり若い方が多い。高齢の方もおられるが、やはり比率は下がる。

生協でも無料でタブレットを渡してそれで注文していただくということもしているが、なかなか難しい状況だ。

◎例えば災害時など、今はネットを使った情報が多いが、高齢の方にうまく伝わらないこともある。情報伝達手段としては多様なものを持っていないと難しいと感じている。

★私たち地元のもものは福知山の野菜を食べたいと思っているし、組合員でも福知山の農業や野菜について興味を持っておられる方もいる。しかし、販売している場所が少なかったり、生産量が少なかったりしてなかなか買うことができない。

◎地場産品を取り扱っているお店もあるが、地場産だけでニーズに合うものを揃えるというのはなかなか難しいと思う。

★私たちの悲願として、この北部地域で店舗を出したいという思いがある。それが実現すれば、買い物便や地産地消などさまざまな可能性が出てくる。事業としても展開できると思う。

◎身近なところで生活用品や食料品を買えるところがあるというのは地域の方にとってすごく大事な話である。

★子育て支援事業として、お子さんの生まれた家庭に「はじめて箱」をプレゼントしている。生協の組合員には生協の広報誌やホームページなどで周知ができていますが、生協の組合員以外の方への周知が十分ではなく、福知山市の窓口等でチラシを配布してもらえないか？

◎市で子育てガイドという冊子を作成して配布している。冊子の中に生協様も広告を掲載していただいている。この広告の中でぜひ周知していただければと考えている。この冊子はお子さんが生まれた全ての家庭に配布しているので、みなさんに情報をお届けできるのではないかと思います。この冊子は毎年更新しているので、次回の更新時にご検討いただきたい。

◎京都府の事業ではあるが、三岳で丹波大納言小豆の栽培を進められていると聞いているが、進捗状況はどうか？

★モデルファーム事業として進めている。昨年作付けをされた。災害もあり、どれほど作物ができたかはまだ聞けていない。

◎この事業で立派な大豆ができれば、生協様のブランド商品になると期待している。

